

生き生きした街づくり

い き い き

子安地域住民協議会広報紙

発行

子安地域住民協議会広報部

(公財) 八王子市学園都市文化ふれあい財団

八王子市子安市民センター

八王子市子安町2-6-1

電話 042 (646) 1220

センターまつりを終えて

子安地域住民協議会

会長 奥野 総一



今年のパリ五輪は金二十個（総数四十五個）と最多の嬉しいニュースでした。また日本被団協がノーベル平和賞受賞となり、核の廃絶を訴え続けてきた被爆者の活動に敬意を表します。

さて、令和七年は昭和から百年、戦後八十年の節目となります。平和があつてこそ、日常の生活があります。現在の世界は混沌としており、日常の生活がいつ壊されるかが心配です。

市民センターまつりも十月十九日、二十日に開催致しました。初日は真夏日、二日目は二十度を切る寒さとなり、寒暖差が大きく、会場やフリーマーケットなど急な対応に追われました。作品展は昨年同様、沢山の展示品があり、一階と三階の会場に一般の作品といずみの森義務教育学校の大応援や作品、高齢者あんしん相談センターも児童の作品を沢山展示していただきました。

そして芸能でも今年初めて千人連による阿波踊り参加もあり、プロ集団、地域団体、個人団体等二十三団体と多くの出演により大盛況で開催できました。また毎年いずみの森義務教育学校の生徒による、よさこいソーラン、花笠ロック、吹奏楽部の演奏、そして保育園園児による遊戯、保護者の方々の応援により大賑わいでした。また初日の夜は民謡踊りが行われ、開催前に雨が降り、昨年より参加人数が七十五人と少し減りましたが、休憩を挟みながら二十五曲ほど皆さん元気に楽しく踊られ、満足してお帰りになれました。

一週間後のセンターまつり解散式（反省会）では開催内容の問題点や、作品の出展者が限られた方々に偏り、新規の依頼者を増やさないとこれからは難しいとの指摘がありました。市民センターの設備や備品等の老朽化も懸念の声がありました。無事市民センターまつりを開催できましたこと、地域住民の皆様、作品出展者の皆様、出演者の皆様、大会実行委員、業務員の皆様、ご協力ありがとうございました。





保育園児によるオープニング企画



よさこいソーラン



吹奏楽演奏



将棋



オカリナアンサンブル



合唱



弦楽演奏



ギター&オカリナ



合唱



新舞踊



武術太極拳



民謡おどりの集い



フラメンコ



フラダンス



コーラス



マリンパデュオ



ベリーダンス



南部神楽



阿波踊り



チアダンス



屋外の催し



作品展示



いずみの森展示コーナー

地域に支えられて賑やかに

センターまつり実行委員長

福祉部長 小山 人司

子安市民センターまつりの出演者、各団体、運営にご尽力くださった皆様に心から感謝申し上げます。今回は、学童保育のスタッフの皆さんに全面協力をいただいたキッズコーナーは、東側の駐車場を開放し、射的・輪投げ・ストラックアウトのコーナーを設け、広々としたスペースで、子ども達から大好評でした。また、演技団体も二十三団体、演技者総数四百四十七名と過去最大規模となりました。さらに南口商栄会からは焼きたてのお団子をご用意いただき、好評でした。センター内の駐車場を地域の交通部が担当、その他運営にあたっては地域の多くの方々に支えていただいたの無事故、大成功のイベントとなりました。今回で実行委員長は四回目となりましたが、地域でのコミュニティの希薄さが叫ばれる昨今、子安地域は励ましと支え合う心があることを改めて実感することができました。重ねて皆様に深く感謝申し上げます。

文化部の活動紹介

副会長 高松和幸（文化部担当）

文化部の活動として以下のことを考えています。一、展示やイベントを通して、伝統的な文化や芸術、歴史を保存し、それを次世代に伝える場を提供すること。二、新しい視点の共有。参加者が他の文化や価値観に触れる機会を提供し、多様性を理解する手助けをすること。三、教育的効果。展示やイベントを通じて、特定の分野について深く学び、知識を得られることを企画すること。四、地域活性化。地域の文化や伝統に関連するイベントを開催すること。五、芸術家や製作者支援。イベントや展示は、芸術家やクリエイターに作品を発表する場を提供すること。作品が認められることで、创作者のモチベーションが高まり、さらに高いレベルの文化が生み出されます。六、社会的なつながりの強化。イベントを通じて、異なる背景を持つ人々が出会い、社会的な絆を深めること。こうした活動を通じて、文化部では新しい形での発展を模索しています。皆様からご意見を賜りますと幸いです。

研修会に参加して

広報部 溝口 国利

参加当日は晴天に恵まれて、歩くにはちょうどいい天気でした。バスの中から甲州街道のイチョウ並木を見ていて、まだまだ青さが目立ちました。高尾方面へ近くなると少し黄色が目立つようでした。現地に到着。ボランティアのガイドさんの説明が懇切丁寧で、八王子城と滝山城との関係や、水戸光圀藩主と後北条氏との関係等々、細かい所まで説明していただきました。

坂道や階段の一段が通常の三倍位の高さがあり、ストレッチになりました。途中で記念写真を撮って、土手の上で珍しい蝶を見つけて写真を撮ったりと楽しい研修会になりました。



【編集後記】広報部より

▼体調を崩しながらもセンターまつり撮影に臨み、頑張って七百枚ほど撮影。毎年これらの写真は一部しか使われないので、残りの写真を何かしらの形で公開できないかと検討中。
（西島）

▼センターまつりの最終舞台が西八王子の皆様による阿波踊りで、楽曲と踊りで大変盛り上げて頂きました。残念でしたのは、その前の幼稚園の皆様の演技の終了後、多くのお客様がお帰りになったことでした。
（井上）

▼研修会。坂と階段、そして屋敷跡の階段を昇る時に足が上がらない！歳だなあと思いました。
（溝口）

▼初めて編集作業に携わせて頂きました。多様性を感じることができました。次回は会議にも出席したいと思います。
（常盤）

▼公私ともに多忙の中での発行。スタッフの皆さん、ご寄稿下さった方々に支えられ、深謝。
（田島）